


# あんしんして暮らせる犬山市

## 認知症ガイドブック

～認知症ケアパス～



今年も桜がきれいだね。  
この町を守ってくれるお城

いつまでも忘れずに・・・  
この桜の時期にお城を  
また見にきたいね。

この町はかわらない  
このお城も変わらないから  
また、散歩にこようね。



# 認知症になっても安心して暮らせる犬山市

誰もが認知症になる可能性があり、認知症に対して不安を持っている方は、少なくないと思います。「認知症かも」と心配でこのガイドブックを手に取られた方もいらっしゃるかもしれません。

認知症は長い年月をかけて徐々に状態の変化がみられていきます。認知症を知り認知症とともに自分らしく暮らし続ける手引きとしてこのガイドブックを活用していただけると幸いです。

令和5年4月

犬山市健康福祉部高齢者支援課  
犬山市認知症初期集中支援チーム  
犬山市高齢者あんしん相談センター

## もくじ

### 認知症についてもっとみんなで考えてみませんか？

認知症かな？	3ページ
病気によるもの忘れとは？	4ページ
認知症とは？	5ページ
認知症を予防しましょう	6ページ
認知症の方を支えるために	7ページ

### 認知症の経過と経過に応じて考えられること

若い時に認知症と診断された方の声	8ページ
同じ認知症の方がいるご家庭の方へのメッセージ	9ページ
認知症の経過（認知症ケアパス）	10ページ

### わたしのこと

わたしのことを伝えましょう	12ページ
わたしのこと	13ページ
わたしのこと記入例	14ページ
わたしを支えてくれる人・記入例	15ページ

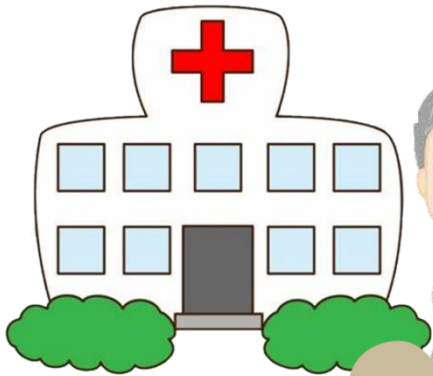
### 高齢者福祉サービス

犬山市あんしんカード・見守りシール	16ページ
見守りGPS機器購入費助成金	17ページ
認知症高齢者等個人賠償責任保険	17ページ

### 地域の認知症相談窓口

認知症相談窓口	18ページ
権利擁護相談窓口	19ページ

# 認知症かな？



認知症はすぐ進行するわけではありません。早く受診することで進行を遅らせたり、治療により改善が可能な場合があります。少しでも心配があれば早めに受診しましょう。

早く受診することで人生をよりよくするヒントを得ることができます。



認知症の診断後も楽しく生活されている方やその家族がたくさんいます。

認知症チェックリスト  
試してみよう！

**3つ以上当てはまった方は、まず相談を！！**

- 同じことを言ったり聞いたりする
- 物の名前が出てこなくなった
- 置き忘れやしまい忘れが目立ってきた
- 以前はあった関心や興味が失われた
- だらしなくなった
- 日課をしなくなった
- 時間や場所の感覚が不確かになった

- 慣れた所で道に迷った
- 財布などを盗まれたという
- ささいなことで怒りっぽくなった
- 蛇口、ガス栓の締め忘れ  
火の用心ができなくなった
- 複雑なテレビドラマが理解できない
- 夜中に急に起きだして騒いだ

(国立長寿医療研究センターもの忘れ外来で使われているチェックリストより一部抜粋)

# 病気による物忘れとは？

誰しも歳を重ねると、物忘れをするようになりますが、「年齢による物忘れ」と「病気による物忘れ」には違いがあります。

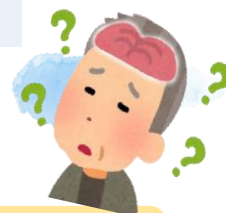
例えば・・・

年齢による物忘れでは、昨日の夕食のおかずを忘れることがあっても、夕食を食べたことは覚えています。

しかし、認知症の場合は、食べたこと自体を忘れてしまいます。

つまり、一連の行動の記憶がまるごと抜け落ちるのが認知症による物忘れの特徴です。

## 年齢によるもの忘れと病気による物忘れの違い



### ★ 年齢による物忘れ

### ★ 病気による物忘れ

出来事の一部を忘れる

出来事の全体を忘れる

きっかけがあると忘れた内容を  
思い出すことがある

忘れた内容を思い出せない

きわめて徐々に進行する

進行性である

日常生活に支障はない

日常生活に支障をきたす

記憶障害のみ

記憶障害だけでなく判断・  
実行機能障害がある

物忘れを自覚している

物忘れの自覚に乏しい

取り繕いはみられない

しばしば取り繕いがみられる

## 違いは？

昨日、喫茶店で偶然お会いした人がいました。娘にその方のお名前を聞かれるが思い出せません。「あっ、〇〇さんだったわね」と娘に言われ・・・



【年齢による物忘れの場合】  
ああ、そうだったわね。  
最近忘れっぽいわ。



【病気による物忘れの場合】  
何言ってるの。  
喫茶店なんて行ってない！！

一連の記憶が丸ごと抜け落ち、指摘されても思い出せず、否定する行動などがみられる。

# 認知症とは？



脳の病気など、さまざまな原因で脳にダメージを受け  
脳の働きが低下することで起こる症状（中核症状）により  
生活のしづらさを体験するようになる状態（およそ6か月以上）をいいます。

そこに身体の不調や生活環境などのいろいろな要因が加わると、  
怒りっぽくなる、抑うつ、不安など行動・心理症状（BPSD）が  
現れることがあります。

## 脳の病気などさまざまな原因

※図は大腦と脳幹を側面から見たものです

### 前頭側頭葉型認知症

- 性格の変化や異常行動が見られ精神疾患と間違われやすい
- 同じ行動を繰り返し、集中力がなくなる
- 言葉の意味が分からなくなる

### アルツハイマー型認知症

- 物忘れ、時間、場所、人物が認識できなくなる
- 料理や掃除などの手順をわすれる

### 脳血管性認知症

- 感情のコントロールが効かなくなる
- まだら認知症になることもある

### アルツハイマー型認知症

### レビー小体型認知症

- 幻覚、パーキンソン症状、うつ状態がある
- 定年後に「まだ働いている」と思うなどの誤認妄想がある



## 脳の働きが低下することで起こる症状（中核症状）

- **記憶障害**  
(新たなことが覚えられない。思い出せない)
- **見当識障害**  
(時間・場所・人の把握が難しい)
- **実行機能障害**  
(ものごとを計画的に実行することが難しい)
- **理解力・判断力の障害**  
(理解や判断したりすることに時間がかかる、難しい)
- **その他**

## 行動・心理症状（BPSD）

- 物を盗まれたと騒ぐ
- 怒りっぽくなる
- 落ち着きなく歩き回る
- 何度も同じことをきく
- 抑うつ
- 不安 など

## 生活のしづらさ

- 物を置いた場所を忘れる。思い出せない。
- 仕事や友達との予定や約束を忘れる。
- 目的地にたどり着けない。家に帰れない。
- 車の運転や道具の使い方が苦手になる。
- 実際に見えないものが見えるようになる。
- その他



# 認知症を 予防しましょう

## 認知症予防のための生活習慣のポイント

運動習慣は、認知機能の維持や向上に効果があることが分かっています。また、食事や睡眠などの生活習慣を整えることや、社会的なつながりをもって生活することが、認知症予防に効果があると考えられており、認知機能の改善も期待できます。

### ●運動（身体活動）などで積極的に体を動かしましょう

ウォーキングやジョキングなどの有酸素運動が適しています。少なくとも2日に1度20分～60分の運動を行いましょう。

### ●バランスのとれた食事を心がけましょう

よく噛むことは消化によいだけでなく、脳の血流を増やし脳の刺激にもなります。



野菜を食べる



お酒を飲むなら1合程度



青背の魚を食べる



水分補給を忘れずに

脱水症状に気をつけて  
1日1ℓを目安に  
水分を取りましょう



### ●生活リズムを整えましょう

朝起きたら朝日を浴び、食事や睡眠の時間など規則正しい生活を送り“はつらつ”と過ごすようにしましょう。



### ●他者との交流が効果的 脳を鍛える活動に取り組みましょう

他者との交流が週1回未満の高齢者は毎日頻繁に交流している人に比べて、認知症になるリスクが約1.4倍高いことが判明しました。ボランティア活動など、家族以外の人とコミュニケーションの機会をつくるのが認知症予防につながります。

# 認知症の方を 支えるために

## 認知症の方の特徴

「取り繕い現象」といって  
できていないことを出来ると言い張る  
ことがあります。本当に自信が  
あるわけではなく実際は…

- 本人は強い不安を感じています。
- 身近な介護者に対して認知症の症状が  
より強く出ます。
- 認知症として理解すべき部分が混在しています。
- 物事は忘れてしまっても感情は保たれており、  
喜怒哀楽がみられます。



## 認知症の方への接し方ポイントは？

- 本人にとって危険でなければ、本人を責めたり、叱ったりしないのが理想です。
- 行動の背景にある、心理的な不安や身体の不調がないかを探す視点が大切です。

### 周囲からの支援が大切です

### 不安なことを聞いてみて下さい

いつもと行動はどうですか？

不安を感じていないですか？

出来ないことが増えた・・・

身体の不調はないですか？

なんだか今日はおかしい

ケガはしていないですか？

# 若い時に認知症と診断された方の声

60歳前半にアルツハイマー型認知症診断  
犬山市在住 80歳男性 Aさんご夫婦

## 診断された時の気持ち

行ったことがある場所なのに  
妻に「初めて通った道」と話したところから  
妻に心配され受診しました。  
まさか自分が認知症になるとは  
実感があまりわかなかったです。

早めの対応が必要と受診をすすめたが頑として  
拒否されました。私の体調が悪くなり夫が病院受  
診を勧めてきました。

お父さんが勧めるし、私は病院へ行っ  
てきます。お父さんも立場は同じとの言葉  
が効いて神経内科に受診しました。

## 進行に気をつけたいこと

運転は控えています。好きなゴ  
ルフは、妻や友達に車を乗せても  
らって続けています。

**体を動かすことが大事**

娘夫婦から“父さんの運転で乗ると  
本当に怖い。絶対やめて”というこ  
とを伝え運転をやめてもらいました。夫のゴルフ  
へ行く手段は駅まで私が運転しています。

これ以上お前に苦勞  
を掛けられんから、  
頑張る！

コツコツと料理を  
続けてもらいたい

## 生活で気をつけていること

家族に迷惑かけたくない。自分ででき  
ることはこれ以上進行しないこと。

今までしなかった料理を週2回するよ  
うになりました。

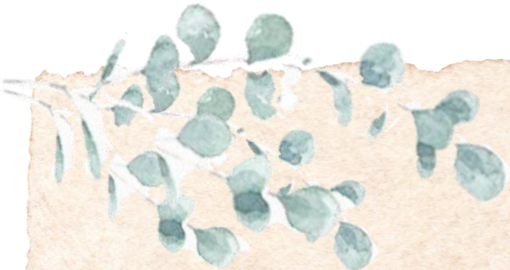
料理を続けてもらうにも工夫が必要。

上手だからってやってもらっています。  
タブレットを見ながら作っています。でも味  
がおかしいときもありますよ。コツコツと続け  
てもらいたいですね。たまには回転寿司に  
出かけたりして楽しんでいます。

妻と喧嘩するけど、喧嘩はいい。

**次の言葉を考えないといけないので。**  
同郷の妻に支えてもらって、穏やかに  
毎日生活することができています。  
ありがたい。





妻より

## 同じ認知症の方がいる

### ご家庭の方へのメッセージ

大学病院は遠いので通うのがたいへんでした。  
しかし、近医に変わることをなかなか本人が承諾してくれませんでした。  
「私が倒れるまで連れていかせるのか」とつい涙ながらに話したこともあり、  
それを見てようやく納得してくれました。

負担は負担。  
夫から「自分も認知症じゃないか」と言われたときもありました。  
時間をかけて休むことで今は、大丈夫になってきました。  
毎日喧嘩しながら。  
でも、忍耐強く自分を変えながら付き合っています。

認知症というところか自己中心的で、一方的で、コミュニケーションが  
取りづらい相手に思考を切り替えて穏やかに暮らしていくことは大変でした。

もともとの頑固な性格もあって、並大抵ではない苦勞です。  
しかし、私は信仰が支えになって、前向きに生きる助けになりました。






大切な自分の心を壊さないようにして「もう少し」「もう少し」と頑張っています。  
同じ思いをもって頑張っていらっしゃる方々にエールを送ります。





# 認知症の経過

認知症を引き起こす疾患や身体状況、環境などにより経過は異なります。

	気づきの時期	ひとりで生活が出来る	見守りがあれば 自立した生活ができる時期	手助けや介護があると 安心な時期	常に介護が必要
<b>この時期の様子</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>物忘れが気になる</li> <li>同じ事を繰り返し聞く</li> <li>重要な約束を忘れる</li> <li>片づけが苦手になる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出来事を忘れる</li> <li>日時が分からない</li> <li>小銭で払うのが苦手になる</li> <li>やる気がなく、ぼーっとする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>火の消し忘れ</li> <li>買い物ができない</li> <li>気候に合った服が選べない</li> <li>生活リズムが乱れる</li> <li>薬を間違えて飲む</li> <li>道に迷う</li> <li>攻撃的な言動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>トイレの失敗が増える</li> <li>服の着方が分からない</li> <li>箸の使い方が分からない</li> <li>体がうまく洗えない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歩行が困難</li> <li>肺炎</li> <li>言葉でのコミュニケーションが難しい</li> <li>眠っている時間が長い</li> </ul>
<b>あなたと周囲の方へ</b> 	<p>何となくおかしい歳のせい？不安…</p> 	<p>どうしてできないのだろう 混乱している 誰になんて相談したらいいのだろう</p>	 <p>本人の失敗が増え 介護に疲れを感じる 休みたい…</p>	<p>最期をどう迎えるのか…</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>歳のせいにして悩みをかかえこんでしまいがち</li> <li>友人や地域とのつながりを大切にしましょう</li> <li>認知症や介護について学ぶ機会を持ちましょう</li> <li>交流会や電話窓口で情報を得る機会を作りましょう</li> <li>身近な人に伝えて理解者・協力者を作りましょう</li> <li>ひとりで抱え込まず周りの人に相談をしてみましょう</li> <li>介護者のことや健康を大切にしましょう</li> <li>介護が増え、身体症状の変化がみられます</li> <li>医療と介護が連携したサービスが受けられます</li> </ul>
<b>相談する事や決めておきたい事</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症予防や介護について、「高齢者あんしん相談センター」や「つなごっと」、かかりつけ医に相談しましょう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護サービスを利用し、生活環境を整えましょう</li> <li>内服治療や外出等、社会参加の機会を持ち、進行を予防しましょう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>周囲の人に協力の声掛けをしてみましょう</li> <li>精神的に落ち着かず、対応に困る時は専門医療機関に相談できます</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>元気なうちに本人の意向を確認しましょう</li> <li>終末期のケアについて周囲と話し合ってみましょう</li> </ul>	

認知症は少しずつ進行し、症状が変化していきます。家族や周囲が認知症を理解し、進行に合わせて対応していく事が大切です。



# わたしのことを 伝えましょう

あなたの望む暮らしを続けていくために、繰り返し話し合っ、その時の考え方や思いを伝えておきましょう

よりよい暮らしを送るために、これからどう暮らしていきたいと思っているかを周囲の人たちが知っていることが大切です。普段から「わたしのこと」を考え、周囲の人と繰り返し話し合い、伝える機会を持ちましょう。

例えばこんなことをテーマに身近な人と話し合っておきませんか？

暮らし方や  
好み



医療や  
介護に  
ついて

高齢者になれば認知症になる  
可能性も高くなるのね

これを機会に色々な話をしよう

そうね、家の整理とか考えないとね

話もいいが書きとめておこう

介護のことは、分からないからね

次のページにわたしのことを書く欄がある  
から記入例をみながら書いてみよう

こんな話するの初めてね

でも大事なこと。  
いつまでも頼むよ「お母さん」

分かった

# わたしのこと

名前：  
一緒に話した人：  
記入日： 年 月 日

## わたしの・・・

なじみの場所・安心できる場所

大切な思い出

行きたいところ

介護への願い・要望

大切なひと

自分のことができなくなったときに、  
自分のことやお金のことを任せたいひと

医療への願い・要望

好きなこと・もの・話・食べ物

人生の最終段階に過ごしたい場所  
自宅・施設・病院・（ ）

嫌いなこと・もの・話・食べ物

人生の最終段階での願い・要望  
延命措置を： 望む ・ 望まない  
その他：

がんばってきたこと・得意なこと

家族や大切なひとへのメッセージ

やりたいこと・やっておきたいこと



# わたしのこと記入例

## わたしのこと

名前：犬山 花子

一緒に話した人：夫、長女、長男

記入日：2022年3月1日

## わたしの・・・

### なじみの場所・安心できる場所

自宅、台所にいるときホッとする

### 行きたいところ

北海道富良野、景色がきれいなところ

### 大切なひと

夫、娘、息子、友人

自分のことができなくなったときに、  
自分のことやお金のことを任せたいひと

夫、夫が難しいときは長女

### 好きなこと・もの・話・食べ物

お花を育てたり愛でること。お饅頭。

### 嫌いなこと・もの・話・食べ物

人の世話になること、嫌いな食べ物ない

### がんばってきたこと・得意なこと

子育てをしながら夫と自営の仕事をしてきたこと

### やりたいこと・やっておきたいこと

断捨離、家の整理

30年会っていない友人に再会したい

### 大切な思い出

家族旅行。北海道のラベンダー畑やドライブは素敵だった。息子に連れて行ってもらった九州温泉旅行。

### 介護への願い・要望

私のことをよくわかって欲しい。できるだけトイレは自分で行けるようにしたい

### 医療への願い・要望

痛み・苦しいのは嫌だから取ってほしい

### 人生の最終段階に過ごしたい場所

自宅・施設・病院・（ ）

まだわからない・・・

### 人生の最終段階での願い・要望

延命措置を： 望む ・ 望まない

その他：

臓器提供など人の役に立ちたい

### 家族や大切なひとへのメッセージ

お父さんへ、大変な時期もあったけど、いつも支えてくれてありがとう。これからも近場の温泉へ行こうね。

さとちゃんへ、万一、お母さんに何かあればお父さんのこと頼むね。

# わたしを支えてくれる人



わたし

## わたしを支えてくれる人記入例

早くから語り合い  
伝え合う



長女家族

夫

自営を手伝って  
くれた千秋さん

長男

わたし

幼なじみの  
かよちゃん

近所の山田さん

かかりつけ医  
愛知先生

ボランティア  
仲間

友人の  
ちいちゃん





# 高齢者 福祉サービス



## 高齢の生活を支えるためのサービス

♥ 問い合わせ・申込先 ♥ 犬山市役所 健康福祉部 高齢者支援課 高齢者福祉担当まで

電話 0568-44-0325 FAX 0568-44-0364

### 犬山市あんしんカード配付

高齢者の安心・安全を守るために、『犬山市あんしんカード』を配付しています。  
『犬山市あんしんカード』とは、かかりつけ医や持病、緊急連絡先などの情報を記入したカードで、携帯することで、救急時に本人が話せない状況になっても、医療従事者などに必要な情報を伝えることができます。

**対象** 65歳以上の市民

**費用** 無料

### 見守りシール交付

認知症高齢者が行方不明になり、発見・保護された場合に、スムーズに家族と連絡を取るために、QRコードを掲載したシールを交付しています。

**対象** 65歳以上で認知症などにより行方不明となるおそれのある市民

**費用** 無料(シールを追加する場合は自己負担で購入できます。)

● 交付枚数 40枚(衣類貼付用30枚、蓄光10枚)

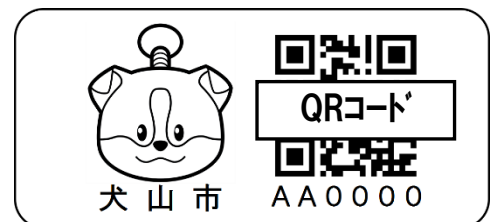
※ 利用には、パソコンや携帯電話などのメールアドレスの登録が必要です。

表面

犬山市あんしんカード		第 見本 号	
氏名	いぬやま たろう		
	犬山 太郎		
住所	犬山市大字犬山字東畑36番地		
電話番号	0568-44-0325	血液型	A
性別	男	生年月日	昭和21年04月02日

裏面

緊急連絡先	犬山 花子	0568-44-0364
	犬山 一郎	0568-44-0325
かかりつけ医	犬山クリニック	0568-44-0326
その他(持病等)	高血圧、狭心症	
このカードは不慮の事故・災害等に備えるためのもので、身分や金銭物品の貸与等の証明や保証になりません。		
令和3年4月1日 発行 犬山市健康福祉部高齢者支援課		



## 見守りGPS機器購入費助成

認知症などにより行方不明になった場合に、位置の検索ができるGPS機器の購入費用の一部を助成します。(1回限り)

履歴確認  
タイプ



### 対象

認知症などにより行方不明になるおそれのある65歳以上の高齢者を自宅で介護している市民

### 助成額

初期登録料(上限1万円)

手動検索  
タイプ



※GPS機器は2種類あり、選択できます。

※利用には、パソコンやスマートフォン等のインターネット環境が必要です。

※履歴確認タイプは、専用アプリのダウンロードが必要です。

## 認知症高齢者等個人賠償責任保険

認知症が原因で、他人にケガをさせたり、線路への立ち入りなどにより電車等を運行不能にさせてしまった際の損害賠償(上限1億円)に対する保険加入の取りまとめをします。

あやまって線路に入ってしまう、電車を止めてしまった



店舗などであやまって商品や飾り物を壊してしまった



歩行者にぶつかりケガをさせた



### 対象

以下のすべてに該当する人

- ① 在宅で生活する40歳以上の市民
- ② 要介護認定を受けていて認知症状があると判定された人
- ③ 市の事業(見守りシール交付事業、見守りGPS機器購入費助成事業)をひとつでも利用している人
- ④ 同様の認知症損害賠償責任保険に加入していない人

### 費用

年間1,540円(4月~翌年3月までの1年間)

※加入月により金額が異なります。

※毎年3月に更新手続きが必要です。



# 認知症相談窓口

(土・日・祝日・年末年始除く)

名称	連絡先	対応時間
犬山北地区高齢者あんしん相談センター	0568-62-1166	8:45～17:30
犬山南地区高齢者あんしん相談センター	0568-62-2270	8:30～17:15
城東地区高齢者あんしん相談センター	0568-61-7800	8:30～17:15
羽黒・池野地区高齢者あんしん相談センター	0568-68-1635	8:30～17:15
楽田地区高齢者あんしん相談センター	0568-68-6165	8:30～17:15
犬山市認知症初期集中支援チーム	090-4538-3311	10:00～16:00
犬山市健康福祉部高齢者支援課高齢者福祉担当	0568-44-0325	8:30～17:15

## ●認知症初期集中支援チーム●

専門医・医療・福祉の専門職で構成するチームです。

相談対象となる人は、犬山市在住で在宅で生活をしている40歳以上の方です。  
例えば・・・

- ・認知症の症状があるけど病院に行ってくれない。
- ・認知症の治療を中断している。
- ・介護サービスを利用したいが上手くつながらない。
- ・認知症による症状が強く介護や対応に困っている。(相談は無料)

## 支援の流れ

### 相談

### 家庭訪問

医療・介護・福祉の専門職が複数でご自宅に訪問し、ご本人・ご家族などからお話を伺います。

### 初期集中支援チームの実施

訪問に伺った情報などをもとに認知症初期集中支援チーム員会議で話し合われた内容に沿って、次のような支援を行います。

- ・専門医療機関を受診するための支援
- ・介護保険やサービスの利用手続き
- ・認知症の症状や対処法についての助言 など

### 初期集中支援チームの終了

適切な医療や介護などのサービスにつながり、在宅生活が続けられる目処がたてれば、認知症初期集中支援は終了となります。

### その後の引継ぎ

今後の支援主体となる高齢者あんしんセンター(地域包括支援センター)や居宅介護支援事務所(ケアマネジャー)などに引継ぎます。

# 権利擁護相談窓口

本人の財産や権利を守るための制度があります。

	日常生活自立支援事業	成年後見制度(法定後見制度)
<b>概要</b>	本人との契約に基づいて、福祉サービスの利用援助や日常生活費の管理等に限定して援助する	財産管理や福祉施設の入退所などの生活全般の支援に関する契約等の法律行為を援助する
<b>対象者</b>	判断能力が不十分ではあるが本事業の利用の意思と契約内容が理解できる人	認知症や精神上的の障がい等により意思表示をする能力が不十分、著しく不十分、欠く常況にある人
<b>支援内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日常的な貯金の払い戻し、預け入れ等生活費の管理、福祉サービス利用料の支払手続き</li> <li>○福祉サービスを利用する際の契約手続き等の援助</li> <li>○通帳・印鑑・年金証明書等の預かり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○預金、不動産、証券など財産全般の管理</li> <li>○施設への入所契約、治療入院契約</li> <li>○不動産の売却や賃貸契約・解約</li> <li>○消費者被害の取り消し</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>
<b>支援者</b>	犬山市社会福祉協議会 (専門員・生活支援員)	成年後見人,保佐人,補助人
<b>費用報酬</b>	サービスの利用は有料 (基準あり)	家庭裁判所が本人の資産状況等を判断して決定
<b>問合せ先</b>	犬山市社会福祉協議会 0568-62-2508	<ul style="list-style-type: none"> <li>○犬山市成年後見センター <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者支援課 高齢者福祉担当 0568-44-0325</li> <li>・福祉課 障害者担当 0568-44-0321</li> </ul> </li> <li>○高齢者あんしん相談センター <ul style="list-style-type: none"> <li>・犬山北地区 0568-62-1166</li> <li>・犬山南地区 0568-62-2270</li> <li>・城東地区 0568-61-7800</li> <li>・羽黒・池野地区 0568-68-1635</li> <li>・楽田地区 0568-68-6165</li> </ul> </li> </ul>

## 引用・参考資料

- ・認知症初期集中支援チーム用パンフレット 鷲見幸彦 国立長寿医療研究センター著書
- ・愛知県健康福祉部地域包括ケア、認知症対策室 2020年3月発行



認知症とともに自分らしく暮らし続けるヒントを得てみましょう



元気で楽しく暮らせるヒントを得てみましょう



認知症になっても大丈夫！  
やさしい犬山市を目指して

犬山市役所 健康福祉部 高齢者支援課  
〒484-8501 犬山市大字犬山字東畑36番地  
TEL 0568-44-0325  
FAX 0568-44-0364  
E-mail 030200@city.inuyama.lg.jp

令和5年8月作成 (第5版)